



きら煌めく人々たち

「女性による地域活性化」

黒田公生さん・尚美さん（御所浦町御所浦・ともに50歳）

御所浦町に住む黒田さん夫妻は、甘夏やモモなどの栽培を手がけている。JAあまくさの理事を務める公生さんが、同本所から「地域を底上げするために女性が必要。御所浦にだけ女性部が存在していないから、ぜひ作ってくれないか」との依頼を受け、尚美さんに相談した。これを受け、昨年8月に地域の認定農家を中心に10人程度を集めて準備委員会を設立し、わずか1カ月で同御所浦支所・女性部を設立した。現在、会員は部長の尚美さんを含め16人で、40歳から50歳

代で構成されている。同女性部の会員には職業や年齢を問わず、誰でも入ることができ、また、活動内容にも制限がない。しかしながら、何をすれば良いのかまだまだ手探りであった。そのうな中、公生さんの発案でJAの敷地内に農作業の実習用の畑を始めた。さらに、台風シーズンの前に収穫することができるとの品種の「モモ」の木を植える予定である。そして、御所浦地域のイノシシ捕獲隊長もしている公生さんは、「イノシシをいかした、さまざまな料理を紹介できないか」と尚美さんに提案をしている。「立ち上げるのに苦労は感じなかった」と語る尚美さん。「会員数が少ないので、若い世代にも入ってもらおうように勧誘していきたい。この組織をコミュニケーションの場と考えると、あらゆる情報交換をしたい」と今後の活動に意欲を見せている。公生さんも「言い出した以上、この組織の活動を後押しするのが私の役目だ」と語った。

ハッピーバースデー

今月で1歳になります



山下 雄司くん
魚貫町
父・文雄さん
母・千恵さん

みんなに、みぞがってもらってうれしいです！いっぱい散歩しようね！



松本 望愛ちゃん
本渡町広瀬
父・元宏さん
母・玲美さん

おにいちゃん、だいすき。元気いっぱい、笑顔いっぱいの私です。



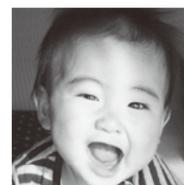
濱本 廉くん
新和町大多尾
父・広喜さん
母・照美さん

おれ、アンパンマンが大好き。みんなこれからよろしくね。



太田 葵ちゃん
船之尾町
父・義彦さん
母・陽子さん

音楽が大スキな葵です♡リズムにあわせてダンスもできるよ！



山下 鴻河くん
本渡町本戸馬場
父・貴弘さん
母・晴美さん

体を動かすのが大好き。いっしょに遊んでね。



藤原 奈緒子ちゃん
本渡町広瀬
父・陽祐さん
母・智美さん

すなおで明るい子に育ってね♡



石井 凜空くん
本渡町広瀬
父・林太郎さん
母・未来さん

かわいい笑顔のいやし系♡パパとママの宝物です♡元気に育ってね！



原田 こころちゃん
志柿町
父・忠志さん
母・沙矢香さん

ホントはさびしがり屋なわたし。これからもいっしょに遊んでね☆



田尻 亜月くん
久玉町
父・正幸さん
母・ななみさん

姉ちゃん、兄ちゃんいつも遊んでくれてありがとう！大好きだよ♡

2月で満1歳になるお子さんを募集します！

- 応募期限=1月12日(必着)。
- 応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

現代に息づく歴史の証 「正月飾り“幸木”」(河浦町今富)

正月飾りといえばしめ縄や門松が代表的ですが、天草地方の古い風習に“幸木”があります。昔は市内全域で見られていましたが、今では一部の家庭にしか残っていないようです。

飾り方はそれぞれの家庭でさまざまですが、河浦町今富の川嶋富登喜さん宅の幸木は、約7尺(約2.1m)の松の棒をつつて縄を下げ、これに華やかな飾り付けをしたものです。まず、新年用の縄を下げた棒に、熨斗3つを竹に挟んだ“魂”とよばれ

るものを取り付け、さらに交差させた藁・竹の葉・裏白・ツルの葉・橙を飾り付けます。そして、ダイコンやニンジン・スルメ・欵などを左右に下げ、白、箕、十字に交差させた杵を配置した庭飾りを置けば、正月を迎える準備が調います。正月飾りを終えると、1年を通して棒と縄だけをつり下げ、家に不幸がない限り毎年縄を足していくのが特徴的です。幸木は、その名のとおり“幸い”への願いが込められた縁起物です。



▲川嶋さん宅の幸木(写真=同氏提供)

地域ぐるり



地区の資源をいかした地域づくりを進める

御領まちづくり振興会(永田章一会長)

五和町の御領地区には、日 本で現存する最古の小学校の一つである、芳證寺衆寮堂や江戸幕府の御用商人を務めた石本平兵衛の屋敷、めがね橋の原形といわれる馬場の石橋など、多くの歴史的文化的資源が残っています。御領まちづくり振興会では、平成17年度から住民で地区にある資源を見直し、歴史的・文化的財産と御領門前町商店街を結ぶ散策コースやガイドマップを作成し、住民が御領を案内する「御領町並み案内」を実施しています。また、昨年4月には同会女性グループ・わたちの会が同商店街の空室を活用して物産販売・交流施設「ふれあい処わたち」をオープン。今では、地区住民や観光客の新しい交流の場になっていきます。今後は、昔から御領の石垣や石堀、護岸用で使用されてきた「御領石」を活用した商品の開発や、「住民総参加」を合言葉に御領の町並みを彩る「御領石竹秋宵まつり」の内容充実を図りながら、御領の魅力発信に取り組んでいきます。



▲多くの人でにぎわう「ふれあい処わたち」